

# 新潟県障害者リハビリテーションセンター 平成30年度事業報告書

## 1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区分	職名	施設長	医師	サービス管理責任者	直接処遇職員							事務員	合計
					生活支援員	職業指導員	就労支援員	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	看護師		
基準定数①		1	1	1	常勤換算方法で8.7以上 ※稼働率125%で計算							1	
正規職員の配置②		1		1	4		1	2	1	1		1	12
正規職員以外のものの配置③			[2]		4		1			1	1	1	8 [2]
現員計 ②+③=④		1	[2]	1	8		2	2	1	2	1	2	20 [2]

注) 嘱託医は〔 〕内で記入すること。

## 2 利用者の状況

(当該年度3月31日現在)

	男性	女性	計
入所者数	22	2	24
退所者数	21	4	25
在籍利用者数 (施設入所)	42 (17)	5 (1)	47 (18)

### ◎年間延べ利用者数

施設入所	機能訓練	生活訓練	就労移行	生活介護	短期入所	合計
5,981	4,793	891	1,511	1,297	21	14,494

## 3 生活介護又は施設入所支援の実施状況

(当該年度実績)

**生活介護**

個別支援計画を基に支援を行っている。

利用時のバイタルチェックを行い利用者の体調管理を行っている。また、日中活動は手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング、グループワーク等をとおして趣味の拡大、社会生活能力の向上に向けて支援している。

必要に応じて医学的リハビリ（PT・OT・ST）に取り組んでいただき自立支援を行っている。

**施設入所支援**

個別支援計画を基に支援を行っている。

高次脳機能障害や身体機能面で自立できない利用者に対して、介助や支援を通して自立支援を行っている。

また、生活習慣や食生活等の健康管理を看護師の指導のもと支援している。

## 4 自立訓練又は生活訓練又は就労移行支援の実施状況

(当該年度実績)

**機能訓練**

個別支援計画を基に支援を行っている。

PT・OT・STと連携を取りながら機能向上に向けた支援を提供している。主にサービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング等を通して身体機能の向上、高次脳機能障害の改善、資格取得、基礎学力向上、趣味の拡大等を支援している。

また、社会生活能力の向上を目的に外出訓練、調理実習、グループワーク等に取り組んでいただき機能向上とともに社会生活能力の向上を支援している。

**生活訓練**

個別支援計画を基に支援を行っている。

日常生活活動能力や社会生活技能の向上に向けた支援を行っている。サービス内容は、手工芸コース、一般教養コース、コミュニケーションコース、パソコンコース、自主トレーニング等の他、生活リズムの確立や服薬、金銭の自己管理の支援、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上、障害理解促進を促している。

**就労移行支援**

個別支援計画を基に支援を行っている。

一般就労や復職を目的に職業スキルの向上に向けた支援を行っている。主にパソコンの資格取得を目指して支援している他、ワークサンプル幕張版（訓練版 OAWork）を用いて、請求書・納品書の数値チェック、作業日誌の記入、ナプキン折り、物品請求書作成など事務的作業により近い形で支援している。

復職を目指す方に対しては、復職先と調整を図り復職に必要な職業スキル習得を支援する。また復職先から復職した際に行う仕事の内容を聞き、実際に仕事で使う道具等を借りて訓練を行っている。

## 5 健康管理・衛生管理の状況

## (1) 利用者の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

実施日	受診済人数	検査内容	実施状況
H30.7月	9人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・視力・握力・血圧・検尿・診察	新潟県障害者リハビリテーションセンター 嘱託医
H31.2月	14人 *利用者個々の状況は把握	身長・体重・視力・握力・血圧・検尿・診察	新潟県障害者リハビリテーションセンター 嘱託医

## (2) 職員の健康診断の状況

(当該年度 3月31日現在)

実施日	受診済人数	検査内容	実施状況
H30.11月	該当者全員	問診・身長・体重・視力・血圧・検尿・血液一般・腹囲測定 胸部X線	新潟県障害者リハビリテーションセンター ゆきよしクリニック

## 6 地域生活移行計画の実施状況

(当該年度実績)

各々の利用者の個別支援計画に基づいて、市町村及び相談機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、指定一般相談支援事業所等と連携して行っている。

## 7 サービス向上計画の実施状況

## (1) 自己評価・第三者評価の実施状況

(当該年度 3月31日現在)

自己評価活動		第三者評価			
実施の有無	実施内容	実施の有無	評価実施機関	第三者評価の実施内容	実施時期
無	—	無	—	—	—

## (2) 意見箱、利用者アンケート等の実施状況

(当該年度 3月31日現在)

・苦情・要望等の受付 検討・対応を行っている)	苦情 0件 要望等：9件 (その都度、職員会議等で
・利用者満足度調査	2月下旬実施
・食事アンケート調査	2月下旬実施

(3) オプションサービスの実施状況

(当該年度実績)

「その他の日常生活費」を設定。以下のサービス内容の実績があり。

- ・私用のコピー、FAX の使用
- ・医療機関等への付添い送迎、外出支援

(4) その他サービス向上のための取組

(当該年度実績)

多岐にわたる利用者のニーズに対して、窓口で選別せず、まずは、要望をお聴きし、問い合わせに対して真摯に対応し、必要な支援につなげている。  
地道な作業であり、時間もかかるが、一番本質的なサービスの向上につながっている。

8 利用者拡大計画の実施状況

(1) 広報・普及活動

(当該年度実績)

- ・見学者及び問い合わせ者へのパンフレット配布
- ・医療機関・相談機関・各市町村社会福祉協議会・その他関係機関へ FAX レター「リハセン通信」を毎月配信する
- ・ホームページの整備  
毎月 2 回、行事、利用者に関する記事の更新と写真を掲載する
- ・回復期病棟の病院、地域包括支援センターへ訪問しサービス内容の説明等を行う

(2) その他利用者拡大のための取組

(当該年度実績)

年末年始やゴールデンウィークなど、長期間休まれることが懸念される時期に、施設行事を企画し、利用率向上を図る。

- ・1月4日 新年会（餅つき大会）

(3) 利用率向上のための取り組み

(当該年度実績)

- ・高次脳機能障害相談支援センターの主催研修会で広報活動を行う
- ・医療機関、行政機関、相談支援事業所等の職員、障害当事者（家族）を対象とした施設の見学・説明会、研修会を定期的実施する。  
※施設見学説明会（6月27日・11月28日）  
※第4回高次脳機能障害支援セミナー（6月27日）

## 9 権利擁護計画の実施状況

## (1) 苦情解決の仕組みへの取組み内容

(当該年度 3月31日現在)

	設置の有無	誰をあてているか(職・氏名)
苦情受付担当者	④ ・ 無	西片 寿仁(副所長)
苦情解決責任者	④ ・ 無	秋山 明美(所長)
第三者委員	④ ・ 無	笠井 友治郎(大学教員・ 元身体障害者更生相談所所長) 渡辺 啓子(亀田小学校区コミュニティ協議会 副会長)
苦情解決のための要領、マニュアル等の作成の有無		④ ・ 無

## (2) 苦情解決の仕組みの周知方法

(当該年度 3月31日現在)

利用者・家族等への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	④ ・ 無	有 ・ ④	④ ・ 無	
受付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載	会報等への掲載	その他	
	④ ・ 無	④ ・ 無	意見・要望に関しては居住棟に掲示・利用者朝会で報告	

## (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度実績)

<p>◎事業所としてどのような体制(例:責任者の設置等)を整備しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情受付の担当者を定め、虐待又はその疑いがある場合は、口頭や苦情受付箱への投書が出来る様に体制を整えている。</li> </ul> <p>◎事業所としてどのような取り組み(例:研修の実施、掲示等)を行っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者朝会・職員朝会・各種会議において、人権擁護等についての話題を取り上げ、職員と利用者が共に考え対応できるように、常に注意喚起を促している。</li> <li>・ 入浴時に、注意し身体虐待の痕跡等観察を行っている。</li> <li>・ 利用者間の人間関係に留意し、早めの対応が出来るように努めている。</li> <li>・ 虐待防止の研修に毎年参加し、伝達講習を実施している。</li> </ul>
--

## (4) 身体拘束の有無

(当該年度実績)

身体拘束の方法	件数	身体拘束の必要な理由	記録の有無	家族等の確認の有無
無し				

## 10 家族・地域・関係機関等との連絡体制計画の実施状況

(当該年度実績)

個別支援計画策定後、サービス担当者会議を開催し必要に応じて、本人、家族、市町村障害福祉課、指定特定相談支援事業所、担当ケアマネージャーを含め支援計画の周知、情報共有を行っている。

## 11 環境への配慮

(当該年度実績)

ゴミの分別に努め、資源ごみのリサイクル活用に貢献する。送信された FAX はパソコンで確認し、必要な物のみ印刷をする。カラーコピーの使用を最小限にし、必要枚数以上の印刷はしないように努める。裏紙の利用を積極的に行う。冷暖房の設定温度(暖房 20 度・冷房 26 度)を守る。9 時と 13 時に居室の照明、エアコンの切り忘れがないか巡回を行う。

## 12 災害事故防止対策の状況

## (1) 防火管理者の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

防火管理者職・氏名	交流センター 統括部長 丸田 徹	防火管理者 講習会受講	18 年 9 月 6・7 日 受講
防火管理者選任年月日	18 年 11 月 2 日選任	消防署への届出	18 年 11 月 2 日届出

## (2) 消防計画の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防計画作成年月日	18 年 4 月 1 日作成	消防署への届出	18 年 4 月 1 日届出
職員への周知状況	「防災計画」「事故対応・防災計画書」の個人配布		
地震、台風等災害計画	「防災計画」の中に記載		

## (3) 防災体制の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

近隣施設・地域住民との協力体制	最終避難所として 向陽の里・あさひ園・亀田公園
夜間勤務職員の役割の明示	新潟ふれあいプラザ自衛消防隊編成表の 2. 閉館時間及び夜間に記載

## (4) 消防署の立入検査の状況

(当該年度 3 月 31 日現在)

消防署の立入検査の実施 (直近のもの)	年 月 日実施	所轄消防署名	
改善 指示の 内容	※ふれ愛プラザの報告に準ずる	左に対 する改 善状況	消防署に対する 改善報告年月日 年 月 日

(5) 消防・防災訓練の状況 ※年に2回はふれ愛プラザ全体の訓練(5,10月)  
(当該年度実績)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
消防訓練 (該当箇所に○印)	実施日	23日	30日	25日	30日	27日	25日	29日	28日	17日	28日	25日	25日	12	
	実施内容	避難		○	○		○	夜	○		○	○	○	夜	9
		救助		○					○				○		3
		通報		○				夜	○					夜	4
		消火		○				夜	○	○			○	夜	6
	消防署への事前通知		○						○					2	
	消防署の立会い														
	近隣施設、地域住民の参加														
	その他の防災訓練 ( )	○			○					○			○		4
消防器具・避難経路等の自主点検					○						○			2	
消防署による 検証指導の実施	(実施済のときは、実施年月日及び指導内容) 実施年月日： 指導内容：														

(「○」…実施、「夜」…夜間想定訓練)

- ・ 4/23 緊急連絡訓練
- ・ 6/25 水害想定での避難訓練
- ・ 7/30 防犯対策のビデオ鑑賞
- ・ 9/25 夜間想定訓練
- ・ 11/28 緊急連絡訓練
- ・ 2/25 地震想定での避難訓練
- ・ 3/25 夜間想定訓練

13 職員の資質向上等人材育成の状況

(1) 職員会議等の開催状況

会議名	定例開催日	記録の有無	参加者
職員会議	毎週水曜日	有・無	訓練配置以外の全職員
経営戦略会議	第二月曜日	有・無	管理部長、事務局長、所長、副所長、庶務課長、サービス管理責任者

## 新潟県障害者リハビリテーションセンター

## (2) 職員研修の状況

	主催	研修名	実施年月日	参加者	内容
内部研修	研修委員会	法人勉強会（介護報酬改定）	5月17日	自主参加	
		法人必須研修（前期）	7月19日	自主参加	
		法人講演会（接遇セミナー）	8月9日	自主参加	
		法人発表会	9月27日	自主参加	
		必須研修（後期）	12月13日	自主参加	
		法人講演会	2月15日	自主参加	接遇
	災害対策委員会	普通救命救急講習会	5月16日	永井	
外部研修	全国身体障害者更生施設長会	身体障害者リハビリテーション研究集会	11月8・9日	西片・渋谷	
		中部ブロック身体障害者更生援護施設長協議会・研修会	10月4・5日	秋山・加藤	
	新潟県社会福祉協議会	社会福祉士実習指導者研修会	6月29・30日	岡村	
	新潟県社会福祉協議会	記録の書き方研修	8月20日	永井	
		対人援助のためのファシリテーション研修	11月6日	渋谷	
		伝える力研修	10月31日	加藤	
	新潟県	サービス管理責任者研修（介護）	10月25・26日	岡村	
	新潟市	障がい者IT活用サポート養成講座	10月28日	佐竹	
	NTT	ビジネスマナー・電話対応研修	4月6日	稲葉	
	ハローワーク新潟	障がい者雇用促進フォーラム	11月14日	山田	
	新潟県	サービス管理責任者研修（地域）	11月15日	高野	
	新潟県社会福祉協議会	コーチング研修	10月26日	稲葉	
	新潟障害者職業センター	就業支援基礎研修	12月5～7日	加藤	
	新潟県	サービス管理責任者研修（知的・精神）	12月19・20日	西片	
	新潟県	新潟県虐待防止・権利擁護研修	11月19・20日	加藤	
新潟県	障害者総合支援法等関係説明会	3月15日	西片		
新潟市	障がい福祉サービス事業所集団指導	2月14日	秋山		



#### 1.4 建物・設備等の状況

- (1) 2018年7月28日、104号室のエアコンドレーンの詰まりが原因で水が溢れ天井崩落。ほかの居室の状況確認し、104号室の天井修復する。
- (2) 2019年1月24日、食堂の冷暖房の配管が破損し、天井より水漏れあり。配管及び一部天井の修理を行う。
- (3) 備品設備の買い替え
  - ・ワークサンプル幕張版ピッキングツール
  - ・食堂用椅子（一体管理予算より）
  - ・手工芸訓練室洗面所
  - ・食堂レースカーテン
  - ・談話室ソファ
  - ・送迎車両（エスクァイア、シエンタ）等



〈ピッキングツール〉



〈食堂用椅子〉



〈手工芸洗面所〉



〈談話室ソファ〉

新潟県障害者リハビリテーションセンター



〈食堂レースカーテン〉



〈送迎車両：エスクァイア〉  
※シエンタは2019年7月以降に納車